

機械器具 32 医療用吸引器
管理医療機器 手動式可搬型吸引器 JMDNコード 36616010

レスキューポンプ

※ 再使用禁止(吸引容器のキャップ、吸引チューブ、アダプタのみ)

【禁忌・禁止】

- ※ ◆ 吸引容器のキャップ、吸引チューブ、アダプタは再使用禁止です
【詰まりなど正常な動作に影響を与える可能性があるため】。

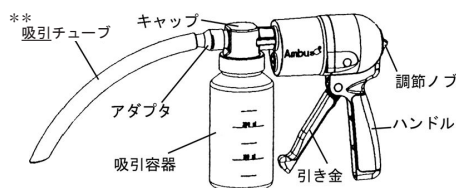
【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本体、吸引容器、キャップ、吸引チューブ、アダプタ、添付文書

2. 寸法及び重量

185×70×168mm、260g



3. 原理

ハンドル(引き金)を操作する(搾る)ことによって、ポンプ本体と吸引容器内に陰圧が作り出されます。

※ 4. 使用環境

環境温度: -20～+50℃

※ 【使用目的又は効果】

- ※ 手で作動させ、液体又は粒状物質の吸引等の治療に用いる陰圧を発生させる装置です。搬送中又は非常時にも使用できるように設計されています。

※ 【使用方法等】

※ 1. 組立

- ※ ① 患者さんに合ったサイズの吸引チューブ又はカテーテルを選んでください。吸引用サクシジョンカテーテルを使用する場合、使用するカテーテルに合ったアダプタを選び、アダプタに接続してください。
- ※ ② 吸引チューブ又はカテーテルの付いたアダプタを吸引容器のキャップに接続してください。
- ※ ③ 吸引容器をポンプ本体に接続してください。

※ 2. 操作方法

- ※ ① 引き金をハンドルに向かって引くことで、ポンプ本体内に吸引圧が作られ、液体が吸引容器に吸い込まれます。
- ※ ② 吸引容器が一杯になったり、吸引チューブ又はカテーテルが閉塞した場合、引き金が重くなります。
- ※ ③ 吸引が終了した後、吸引チューブ又はカテーテルをゆっくりと患者さんからはずしてください。ポンプ本体から吸引容器・キャップ・アダプタ・吸引チューブ又はカテーテルをはずし、本体以外は廃棄バックに入れて、適切な方法で廃棄してください。

※ 3. 吸引力の調節

調節ノブを左に90°回転させてください。ノブが水平方向にある時に最大で-450mmHg、90°傾けた垂直方向の場合には最大で-225mmHgとなります。

※ 4. オーバーフロー防止機能

- ※ この機能は吸引容器に付いています。吸引容器が一杯になると、この機能が作動し、吸引をしようとしても引き金の操作ができなくなります(ハンドルを引いても、非常に強い抵抗を感じます)。この場合、吸引容器

を空にする、又は別の吸引容器に交換してください。この機能によって、ポンプ本体に吸引物は入りません。

- ※ 注: ポンプ本体を逆にした場合、オーバーフロー防止機能により、吸引ができなくなります。吸引中に突然抵抗を感じ、吸引容器にまだ余裕が有る場合、この機能が働いています。ハンドルと吸引容器の底面が床を向くようにしてください。改善しない場合、吸引容器を外してください。それでも吸引できない場合、下記の使用上の注意を参照してください。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ※ ◆ 引き金の操作が困難になった場合、吸引経路のいずれかで閉塞しています。閉塞場所が特定され、(吸引チューブ、カテーテル、アダプタ、キャップなどの)閉塞状態が取り除かれれない限り、吸引しないでください。
- ◆ 吸引圧はアンブ社が指定するテスト環境において測定されたものです。使用状況によっては、実際の吸引圧とは異なることがあります。
- ◆ ポンプを水や液体に浸さないでください。浸けた場合は交換してください。
- ◆ ポンプ本体が患者さんからの液体によって汚染された場合、交差感染を防ぐため、交換してください。
- ◆ 吸引容器のキャップをポンプ本体にしっかりと接続してください。
- ※ ◆ 患者さんへの使用前に、正常に機能することを下記の機能テストにより確認してください。

※ 【保管方法及び有効期間等】

※ 保管環境温度: -40～+60℃

耐用期間: 本体3年[自己認証(製造業者データ)による]

ただし、本添付文書通りに使用、保守及び保管された場合

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

＜洗浄・消毒・滅菌・乾燥＞

- ※ 吸引容器・キャップ・アダプタ・吸引チューブは廃棄してください。ポンプ本体の保管前に暖かい石鹼水や中性洗剤や漂白剤などで消毒・乾燥させてください。液には浸さないでください。

＜機能テスト＞

- ① 患者さんに使用する前に、ハンドルの状態を確認してください。
- ※ ② 吸引容器を取付け、指で吸引口を閉塞してください。
- ③ 引き金を操作し(搾り)、吸引されることを確認してください。

＜スペアパーツ＞

102 03 081 コレクションコンテナセット

102 03 082 キャリングケース

2. 業者による保守点検事項

- ※ 業者による定期点検は必要ありません。

※ 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者の名称: アイ・エム・アイ株式会社

※ 製造業者名(国名):

CHEEN HOUNG ENTERPRISE CO., LTD.

(チェーンホン エンタープライズ社)(台湾)